

医学研究センター

医学研究センター

松下 祥
(センター長)

医学研究センターは以下の7部門で構成され、それぞれが異なる視点から研究を支援している。

- 1) 研究支援管理部門 : 外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 2) 知財戦略研究推進部門 : 知的財産の管理やTLO活動に関わる。
- 3) 共同利用施設運営部門 : 各種共同利用施設の運営に関わる。
- 4) 安全管理部門 : RI, DNA, 薬物, 環境, 動物, 感染など, 研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門 : 大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究主任部門 : 基本学科と医学研究センターの情報共有に関わる。
- 7) 研究評価部門 : 研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

全キャンパス両学部から選出された構成員からなる運営会議を月に1度開催し、活動している。部門内での会議も適宜開催されている。各部門活動の詳細は部門報告を参照されたい。なお、知財戦略研究推進部門は29年度内にリサーチアドミニストレーション(RA)センターに移管する予定である。

平成28年度も以下のような学内の各種グラントを運用した。

1) 学内グラント

丸木記念特別賞、関口記念特別賞、一般枠からなる。一般枠は前年度の文科省科研費に応募し、不採択となった者が申請資格を有する。

2) 研究マインド支援グラント

課外プログラム助成、共通部門助成、医学部若手限定助成の3種類がある。

29年度のタイムスケジュール(予定を含む)を表1にまとめた。助成実績などは医学研究センターHPから参照可能である。

また、平成26年12月には「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が公表されて27年度から施行されることも重なり、新たな管理組織の必要性が大学・法人間および教員・職員間で共通に認識されるようになった。その結果27年度からスタートしたのが、リサーチアドミニストレーション(RA)センターである。センター長(理事)、副センター長(教員)、専任教授1名、兼任教授1名、専任職員、兼任職員が配置された(表2;29年度スタート時点での構成員。予定を含む)。

表 1. 学内の各種グラントのタイムスケジュール (平成29年度予定を含む)

区分	公募開始日	予備審査締切日	最終締切日	選考委員会開催日	教員代表者会議報告日	予算(配分)執行開始日	予算執行終了日
通年・夏期プロ	平成28年6月	平成28年8月	平成29年5月末日	平成29年6月6日	平成29年6月23日	平成29年7月	
春期プロ		平成29年2月					
共通部門	平成29年7月		平成29年8月	平成29年9月	平成29年9月15日	平成29年10月1日	平成30年8月31日
若手限定 (医学部基礎)							
学内グラント	平成29年4月		平成29年5月18日	平成29年7月4日	平成29年7月21日	平成29年9月1日以降	平成30年8月31日

表 2. リサーチアドミニストレーションセンター 構成員

センター長	専務理事 棚橋紀夫
副センター長	副学長 松下 祥
	教授 千本松 孝明
シニア U R A	教授 小林 国彦 (兼務)
オブザーバー	副理事長 吉本 信雄
事務部門	
	課長 佐藤 勝茂
研究費担当	主任 仲村 由紀子
研究費担当	神田 春香
研究費担当	中沢 恭世
研究倫理担当	小鷹 徳子
研究倫理担当	中島 奈月
(兼務者)	課長 松尾 有裕 (大学事務部)
(兼務者)	係長 小野寺晴美 (大学事務部)
知的財産・産学官連携担当 ※平成29年6月～	
	菅原 哲雄
(兼務者)	三谷 幸之介 (ゲノム医学研究センター)
	石川 友美
産学官連携アドバイザー	豊田 浩一
知財アドバイザー	林 利藏
(兼務者)	大沢 和弘 (ゲノム医学研究センター事務室)

以下を主な活動内容とする。

- | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------------|
| 1) 諸規程の整備 | 5) 研究費の適正使用 | 9) 外国為替及び外国貿易法への対応 |
| 2) 大学倫理審査委員会支援 | 6) 研究費の獲得 | 10) 知的財産の管理運用 (29 年度より) |
| 3) 大学COI管理委員会支援 | 7) 研究に係る診療組織との連携 | 11) その他研究の推進と管理に係ること |
| 4) 研究不正の防止 | 8) 研究に係る教育とモニタリング | |

平成 28 年度は主に以下のような活動を行った。

- 1) 倫理審査委員会、組換えDNA実験安全委員会の事務局業務を引き継ぎ、関係部署との連携を強化した。
- 2) NIH など外部研究機関のデータベース利用登録、国内国立機関の研究施設利用登録など、研究部門の事務として広く研究活動の支援を行った。
- 3) 倫理審査委員会認定事業、倫理指針改訂への対応、3 キャンパスの倫理審査委員会・IRB との連絡協議会開催など、研究倫理審査業務の中央部門として活動した。また主管校として第 54 回医学系大学倫理委員会連絡会議を開催した。
- 4) 公的研究費の適正使用に関する説明会、研究倫理向上研修会、利益相反管理など研究公正の取組みを推進した。また 5 月に実施された会計検査院受検に対応した。
- 5) 慶応大学病院を中核となる「首都圏 AR コンソーシアム」に構成機関として参画するなど産学官連携強化に取り組んだ。
- 6) 特定認定再生医療等委員会の認定を平成 29 年 3 月に受けた。
- 7) 海外研究機関への簡易型遺伝子解析装置の持ち出しに当たり、安全保障貿易管理の観点から審査を実施した。
- 8) 今後の研究支援体制について、URA の配置も含め検討を行った。

これらの活動は学内 HP (<http://smswww/ra/index.html>) でも紹介されている。